

タイプアート画家の 渡邊良子さんが逝去

筑西市市民栄誉賞受賞者で、タイプアート画家の渡邊良子さんが、7月23日にご逝去されました。謹んでお悔み申し上げます。

高梁市の近藤隆則市長から、メッセージが届いていますので、ご紹介します。



渡邊良子様のご逝去の報に接し、謹んでお悔やみ申し上げます。

障がいを乗り越えて

「おっこさん」の愛称で親しまれる渡邊良子さんは、下妻市に生まれました。生まれて間もなくの高熱で脳性小児マヒとなり、不自由な身体での生活を余儀なくされます。そして、8歳の時に筑西市（旧下館市）に転居します。19才の時、眼科医だった父に、電動式タイプライターを買ってもらい手紙を書くことから始め、後には日記も書きはじめたと言います。

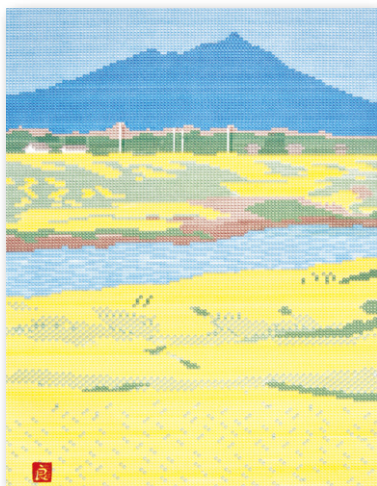
タイプアートとの出会い

30代後半になり、姉に勧められ遊びのつもりでタイプアートを始め、翌年に文化祭総合美術展に初出品、佳作となり作品造りの励みとなります。

その後、個展を開く一方、肢体不自由児・者の美術展厚生大臣賞の受賞、画集の発行など、次々と作品を送り出します。

渡邊さんの作品は、人物や動物、建物や花など多種にわたり、見る人を感動させてくれます。

平成21年、永年にわたるタイプアート画家としての活動が認められ、筑西市市民栄誉賞（第1号）が贈られました。



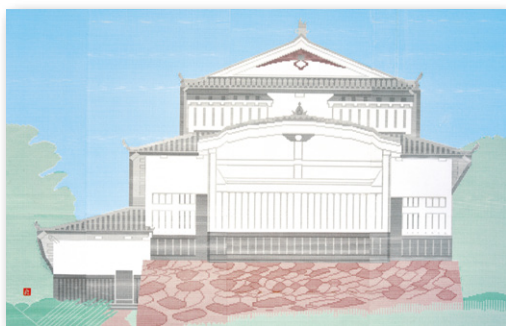
菜の花と筑波山

友好都市との橋渡し

また、筑西市と友好都市である岡山県高梁市の「備中松山城」をタイプアート作品とし、「この作品が、両市友好の架け橋になる事を願っています」と、高梁市に贈呈。

高梁市役所に飾られています。

こうして渡邊さんのタイプアート作品は、両市交流の大きな橋渡しにもなっています。



備中松山城

筑西市と高梁市が友好都市であることからご縁があり、平成26年8月に初めてお会いし、平成28年6月には高梁市にいらしていただきました。その時お渡した資料を基に「高梁市・備中松山城」のタイプアートを制作され、ご寄贈いただきました。そのタイプアートは現在も高梁市役所の玄関フロアーに飾り、市民のみなさんに親しんでいただいています。

次は本物の備中松山城が見たいと仰られていたので、高梁市にまた来られることを楽しみにしていました。が叶わず残念でなりません。

また、平成30年7月豪雨災害に際しては、励ましのお手紙と義援金をお送りくださったなど、いつも高梁市のことを気にかけていただいていた。本当にありがとうございました。

タイプアートを通じて世界と繋がり、高梁市とも繋がっていたおっこさん。在りし日のお姿を偲び、心からご冥福をお祈りします。

高梁市長 近藤 隆則